

審議会等会議録

審議会等の名称	令和 5 年度第 3 回山口市立図書館協議会
開催日時	令和 6 年 3 月 1 4 日（木曜日） 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
開催場所	山口情報芸術センター多目的室（2 階）
公開・部分公開の区分	公開
出席者	安光会長、伊東副会長、仲村委員、中村委員、属委員、井上委員、野村委員、福永委員、三坂委員
欠席者	安光（真）委員、山田委員、瀬川委員
事務局	大井中央図書館長、杉山小郡図書館長、網田秋穂図書館長、国重阿知須図書館長、楳本徳地図書館長、徳本阿東図書館長、中山中央図書館管理担当主幹、平岡中央図書館サービス担当主幹、一村中央図書館サービス担当主幹
議題	1 令和 6 年度予算の概要について 2 その他
内容	○中央図書館 中山管理担当主幹 本日は、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。 （資料確認） それでは本年度初めて出席される委員からご挨拶をいただきたいと思います。 福永委員、野村委員（自己紹介） ○中央図書館 中山管理担当主幹 ありがとうございました。会議の成立についてです。本日は安光真裕美委員、瀬川委員、山田委員が欠席ですが委員の過半数の出席がありますので山口市立図書館条例施行規則第 2 4 条により会議は成立しておりますことを報告します。 山口市立図書館条例施行規則第 2 4 条により、会長が議長となりますことから、これからの議事進行を会長にお願いします。安光会長、よろしくお願いします。 ○安光会長 令和 5 年度第 3 回山口市立図書館協議会を開催します。 議事録の作成にあたって録音することに同意いただけますか。 （了承） 議事録をホームページで公開してもよろしいですか。 （了承） 発言の際には、名前を言われてからお願いします。 本日の議事は「令和 6 年度予算の概要について」です。事務局から説明をお願いします。 ○中央図書館 中山管理担当主幹 令和 6 年度山口市立図書館関係予算の概要（総括事項）を説明いたします。 基本方針として「いつでもどこでも 本に出会えるまち 人生 1 0 0 年時代に

マッチした身近に役立つ「市民の図書館」を目指して、第四次山口市立図書館サービス計画及び第四次山口市子ども読書活動推進計画に基づき各種事業に取り組んでまいります。また、図書館が多くの人に利用され、にぎわいの場、まちづくり、人づくりの場となるよう、「地域に潤いを与える安心安全で快適な図書館」を目標にしながら管理運営を進めてまいります。

非常に厳しい財政状況が続いておりまして、管理的な経費である人件費や保守業務経費などについて継続的な確保を図るとともに限られた予算内で効果的に事業を進めてまいりたいと思っております。

重点項目として令和6年度の新規事業についてです。図書館管理運営業務では、施設機械設備の故障などについて4つの工事を行います。

小郡図書館外壁改修工事については、外壁に埋め込まれている小さな丸いコンクリート片が取れて落下する恐れがあるということで安全を確保するため改修工事を行うものです。小郡図書館空調機改修工事については、故障しております空調設備の改修を行うものです。

阿知須図書館のシート撤去工事については、建物の上に設置しておりますモニメントのシート支柱等が老朽化しており外れる恐れがあるため撤去を行うものです。また、フィルムの設置工事については、シート撤去後、天窓からの直射日光を防ぐためにフィルムを貼るものです。

図書館活用推進事業については、今年度も実施しました県央連携都市圏域ナナシマチでの連携イベントを行います。

令和6年度山口市立図書館関係予算の概要（事務事業別）を御覧ください。

図書館の7事業の目的等についてです。令和5年度予算に対する6年度予算の増減額を載せております。全体予算については、4,287万6千円の増額となっております。この主な要因は、小郡図書館及び阿知須図書館の施設や設備等の改修工事によるものです。

図書館管理運営業務の小郡図書館の外壁改修工事については1,400万円としております。工期は未定で、秋ごろの施工を見込んでおります。小郡図書館の空調機改修工事については、129万8千円としております。

阿知須図書館のシート撤去工事については、160万円、シート撤去後のフィルム設置工事を130万円としております。

移動図書館管理運営業務については、移動図書館の管理運営として車検費用の減に伴う減額としております。

図書館資料整備事業と子ども読書活動推進事業については、昨年と同額としております。

図書館活用推進事業については、ナナシマチプロジェクトの交流イベント経費30万円を計上しております。7市町で工夫や意見を出し合いながら連携したイベントに取り組んでまいります。

図書館活用推進事業全体では、令和5年度に周年記念事業が終了したことや事

業費を調整したことによって128万4千円減額しております。

予算総額については、2億9千7万1千円としており効果的に予算を執行してまいります。

○安光会長

皆様からご意見、お気付き等ありましたらお願いします。

○井上委員

図書館の資料費が令和5年度と同じで、ずっと同じ額で続いていると思いますが、増額というのも難しい状況かとは思っています。本の価格が上がってきている中で、やはり購入できる点数が減ると思います。資料の充実という観点からどのように考えておられますか。

○中央図書館 大井館長

市では、施策別包括予算制度による枠配分としておりまして、予算の枠が決まっております。その中で枠配分が示されて、それを図書館の中で優先順位をつけています。

増額した形で予算配分してくれれば、資料費を追加して充実させるということが出来ますが、基本的に固定経費、人件費であったり、行事の経費であったり、施設の営繕であったり、そうしたところが固定されており、一般的な管理経費も上がっている中で、資料費だけは昨年と同額を確保したというところです。

また、地域資料や児童書等の充実に向けた増額の要求もしましたが、なかなか認めていただけない状況です。

○安光会長

全体的な枠もありますがマイナスにはなっていない状況です。今後増額のためにご尽力いただければと思います。

○中村委員

小郡図書館の空調工事期間は使用できないとなると利用者に不便をかけると思います。いつ頃で、休館してする工事でしょうか。

○小郡図書館 杉山館長

空調の状況についてですが、5系統の空調システムがあります。第1系統から第5系統まであって、今回は第1系統の修繕になります。主に開架スペースについては第1系統、第2系統で補っています。第1系統を止めても第2系統は動いていますので、全体を止めての工事ではありません。現在、エラーが出る状況ですので、間引いたり、少し弱めたりしながら使っています。そうしたことで大きく支障はないと思っています。全体が止まると問題ですが、系統別に運転していますので大丈夫だと思います。

工期ですが、部品の納入がいつになるかで変わってくるのではないかと思います。2年前に第2系統の工事をしましたが、部品の納入まで約3か月かかったこともあって、時期は、はっきりしません。

○安光会長

利用者は通常どおり利用できるということで安心しました。

○伊東副会長

ブックスタートの推進事業についてです。この算出根拠は新生児数になると思いますが、市内の新生児数の増減はどうでしょうか。12万円減額となっています。

○中央図書館 大井館長

新生児数は少なくはなっています。算出根拠とすると900人を見込んでおります。100人の減で算出しています。

○伊東副会長

配布する絵本の平均単価が上がると同額予算では購入できる冊数が減ります。絵本1冊の値段が1,000円だったものが1,500円になると配布できる数が変わってくる。新生児数減で減額ならいいですが、3冊だったものを2冊にしたよということではないのですか。

○中央図書館 大井館長

昨年度と同じ内容のものをお配りする予定です。

○伊東副会長

資料費ですが、本の平均単価が物価上昇により上がっているということだと、「昨年度と同じ予算では、今年度購入できる冊数が減る。昨年度と同じように蔵書の更新を実現しようとする、実はもっと資料費が必要だ」ということを前提として予算折衝していただけたらと思います。

○安光会長

他に質問はありませんか。

(質問なし)

ないようでしたら、事務局からその他についてありますか。

○中央図書館 中山管理担当主幹

事務局からはありません。

○安光会長

その他について日頃からのお気づきや予算も含めて発言をいただけたらと思います。

○井上委員

質問を2ついたします。図書館で、障がいのある方へのサービスはどのようになっていますか。例えば目の不自由な方が図書館のカウンターに来られた時の対応、ご案内とか使える資料とか、そういったところのサービスを教えてください。また、第1回協議会で質問をした「こどもワイワイ図書館で子どもの権利条約をテーマにできないか」ということを質問しました。その際、いろいろなご意見をいただきましたのですが、あれからどのようになりましたでしょうか。

○中央図書館 大井館長

障がい者サービスについてです。山口市の現状の取組としては、中央図書館で

は、朗読ボランティアの愛メイトによる対面朗読サービスや障がい者手帳をお持ちの方に対する資料の郵送貸出というサービス、館内に設置している機器では高齢者や目が不自由な方への機器・備品として拡大鏡や本を置いてカメラで映してディスプレイで見る拡大読書器、音声読み上げソフトの入ったパソコンを朗読サービス室に設置しています。県立図書館との連携として、相互貸借で借りる資料のマルチメディアデイジー図書や音声デイジー、点字図書、点字雑誌、録音図書、録音雑誌の貸出が可能となっています。そうした案内をしたり、相互貸借でお貸ししたりしています。また、バリアフリー資料ということでLLブック、オーディオブック、点字付きの絵本、さわる絵本の貸出にも対応しておられますので、そういったことのサービスを提供しています。

○安光会長

中央図書館の取組ということでよろしいですか。

○中央図書館 大井館長

県立図書館との相互貸借は全館しています。それぞれの館で若干違うところがあります。

○安光会長

小郡図書館から障がい者サービスについて説明をお願いします。

○小郡図書館 杉山館長

窓口にも目の悪い方が来られたら職員による説明をし、聞き取りながら対応しています。また、耳の悪い方が来られたら主には筆談で対応するようにしています。設備・備品としては、点字ブロックや多目的トイレ、車椅子を設置しています。資料は、朗読CD、大活字本等を所蔵しています。

○安光会長

秋穂図書館はいかがでしょう。

○秋穂図書館 網田館長

秋穂図書館でも基本的に小郡の対応と同一です。拡大器、大活字本、点字の絵本を揃えています。

○安光会長

阿知須図書館をお願いします。

○阿知須図書館 国重館長

阿知須図書館も小郡・秋穂図書館とほぼ同じです。所蔵としては大活字本や点字資料、朗読CD、音楽CDです。DVDとしては、一部で日本語音声ガイド付き、字幕付きというものがあります。点字資料については、利用登録がなくても館内利用が可能ということにしています。CD、DVDについては、館内利用でも、利用登録を必要としています。利用登録があれば資料の貸出も可能です。

独自の取組としては、月1回火曜日に目の不自由な方に個室でボランティアによる対面の朗読サービスをしています。その際、雑誌、本人希望の書籍があれば提供しています。

○安光会長

徳地図書館お願いします。

○徳地図書館 榎本館長

基本的な対応は、他の図書館と同様です。目が不自由な方へはカウンターにコミュニケーション支援ボードを準備しており、それを使って対応しています。それと筆談ボードも備えています。大活字本や点字図書も所蔵しています。

○安光会長

阿東図書館ではどのようなサービスを行っておられますか。

○阿東図書館 徳本館長

耳の不自由な方に対しては、職員は耳マークバッジをつけて案内しています。コミュニケーション支援ボード等を使って対応しています。言葉が出にくい方には、筆談ボードで対応しています。また、車いすは施設内に常備しています。

○安光会長

利用者がどれだけおられるか分かればお願いします。

また、子どもの権利条約をこどもワイワイ図書館のテーマとしてはどうかという意見に対しての回答をお願いします。

○中央図書館 大井館長

障がい者手帳をお持ちの方の人数ですが、市全体として令和4年3月31日現在、視覚障がいの方は436人、聴覚障がいの方が566人です。それ以外、肢体不自由であったり、内臓系の障がいであったり、そういう方もおられます。全体で7,085人です。

図書館の関係では、主に視覚・聴覚の障害のある方が障がい者サービスの対象となります。身体の方も車いすをご利用される場合もございます。肢体不自由の方は約3,300人の方がおられます。

○安光会長

視覚・聴覚障がいの方は、合わせて約1,000人が本市に在住されているということですね。利用はありますか。

○中央図書館 中山管理担当主幹

音訳ボランティア愛メイトによる対面朗読サービスの会員数は33人です。朗読サービスの定期的な利用者は5人です。月に5回、午前と午後に分けて対面朗読サービスをしており、令和6年度からは月7回とする予定です。その他の利用は、調べていきます。

○安光会長

これはボランティアのみで行っているサービスですか。

○中央図書館 大井館長

職員とも役割分担をして一緒にサービスを提供しています。職員が事務局を主にして読み手などは愛メイトにいただいています。

○安光会長

こども権利条約についてお願いします。

○中央図書館 大井館長

令和6年度こどもワイワイ図書館の実施内容についてです。子ども読書週間は、4月27日から5月10日となっており、これに合わせて、今回9回目の実施となります。趣旨、目的は、日頃静かな図書館で子どもたちが笑い声や読み聞かせの声で、ワイワイガヤガヤと音のある空間に変わって、一年に1度だけ特別な日として、普段図書館を訪れない方にも足を運ぶきっかけづくりとして開催しているイベントになっています。

中央の主なイベントですが、絵本と音楽のコラボレーションのライブとして、スタジオAを使って音と絵本を見せながらライブをすることを考えています。徳地の青少年自然の家にワークショップをしていただきます。昨年もしました山口大学によるワークショップで、石について楽しく学ぶものもあります。まちじゅう図書館とのコラボレーションとしてワークショップをしようとも考えています。中央図書館職員による子ども向けの工作やお話会、上映会も実施します。

子どもの権利条約をテーマにしてはというご提案ですが、第1回協議会でも話をさせていただきました。特定のテーマで実施するということは今のところ考えておりませんで、普段、図書館に足を運ばれない方に、一日ワイワイと過ごしていただくというようなことで考えています。

ただ、テーマを絞ったイベントもあっていいと思っておりまして今後、別の形で検討していきたいと思っています。

○安光会長

こどもワイワイ図書館の開催日はいつですか。

○中央図書館 大井館長

4月27日土曜日です。

○安光会長

4月27日に6館で実施ですね。子どもの権利条約をテーマとするのは、難しいということですが、子ども基本法が制定されているので、図書館で取り上げていただきたいと思います。

○中央図書館 大井館長

いろいろな啓発は、子ども向けに限らずあると思います。そういったもののテーマを絞ったイベントというのは、やはり本庁の関係する所属や機関と連携しての実施が効果的と思っています。それも含めて検討したいと思います。

○安光会長

他にありませんか。

○野村委員

小学校に、ポンピー文庫として月2回程度、約100冊の本が届きます。本当にいつも子どもたちが楽しみにしています。

その本を学校司書が、学年に分けて各学年15冊くらいになります。それを1

組、2組、3組で順番に回して、全員が読めるようにしています。秋の感想画の展示や5月に好きなお話の絵の募集にも参加させてもらって、子どもたちが保護者と一緒に、図書館に作品を見に来たりして、そのことが日記に書いてあったりして、私たちもそのように催されていることを知ることができています。

○安光会長

他にはありませんか。

○中村委員

阿知須図書館の図書館だより3月号に、防災の本の展示のことが掲載されました。その防災に関することや地元の中学生のお薦め本を展示していることが書いてありました。これは他でもしているということを知ることがあります。よく中・高生の活用という話が出る中で、阿知須図書館で定期的実施されておられることは素晴らしいと思います。やはり同じ世代が何を選んだかというのを見ると、中・高生世代は刺激されると思います。各図書館でもこうした取組をされたら良いと思いました。

防災に関しては、大庭地域交流センターで避難訓練を利用者と一緒することがありました。中央図書館や小郡図書館だと、大きくて難しいと思いますが、図書館の利用者と一緒に防災訓練をして、その後、危険個所の確認やミニ講座を合わせてすると、防災意識が高まるのではないかと思います。

図書館だけではなく、市の関連部署と連携して実施すると、能登半島地震から間もないので関心が高く、必要なことではないかと思います。

資料費ですが、同じ資料費であれば買える点数が減るのは分かります。小郡図書館で蔵出し本というコーナーがあって、書庫にある本を出して紹介する企画があります。私はそれを見るのが好きでして、今ある財産を職員の知恵で活用できると思います。新しい本を買うことも大事ですが、今ある資料をどのように活用するかを、知恵を出していただけると楽しみだと思いました。

障がい者サービスの説明があったときに、障がい者手帳を持っている方に郵送サービスがあると聞きましたが、このことをどのくらいの方がご存知なのだろうかと思いました。障がい者サービスに限らずサービスの周知をきめ細かにできたらよいのではないかと思います。

○安光会長

中・高生などの人材の活用、利用者を巻きこんでの避難訓練、資料の活用など新しい視点で、また知恵を絞っていただければと思います。

また、障がい者サービスの周知徹底は大切だと思います。まずは、当事者や一般の利用者もご存知なのかということで、周知についてご検討いただければと思います。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

郵送貸出の件については、日本郵政がしている盲人用郵便物サービスを使っています。これは、点字資料やCDを無料で発送することができます。視覚障がい

者に限って、そのサービスを使って、主にCDの送付をしています。ただ、サビエ等のサービスもありますので、利用される方はそれほど多くありません。

○安光会長

分かりました。中央図書館が代表して行っているとの理解でよろしいでしょうか。ご存知の方があれば中央図書館でサービスを行っていることをお伝えいただければと思います。

○仲村委員

来年度の事業について、市民との協働推進とありまして、山口市はいろいろなボランティアや団体がおられて、それで様々なサービスの充実であったりとか、住民参加であったり、いろいろなメリットがあるかと思っています。団体数やボランティア数が増加しているのでしょうか。あまり中・高、大学生が参加しているのは、そんなに見ないなという感じがします。増えているのか、それとも現状維持が続いているのかに関心があるところです。

市全体ではなく、図書館に協力されている方がどれくらいいますか。

○安光会長

中央図書館はおられますか。

○中央図書館 大井館長

補修や排架のボランティア、トネリコ、読み聞かせパレットの会、朗読サービスの愛メイトです。約3年前にパレットの会ができたので増えています。ただ会員数がそれほど、増えているというほどではありません。

○安光会長

最初の頃は緑化ボランティアもあったと思います。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

まず、成立の過程からすると、山口市立図書館のボランティアの会というのを最初に作りました。ボランティアの会の中に、例えば補修をする人、排架をする人とグループ分けをして活動していました。

その後、形態が変わりまして、現在、愛メイトが独立して、対面朗読や障がい者サービス等をしていただいています。愛メイトについては会員数が徐々に増えて活動も盛んで33人となっています。また、パレットの会も会員数が増えまして、ボランティア養成講座をして活動がかなり盛んになっています。

○中村委員

パレットの会の登録は15、6人くらいです。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

実働約10人で、会員の入れ替わりはありますが、人数はそれほど減っておらず盛んに活動されています。

補修ボランティアについては、パレットの会と兼ねるような形でやっていただいています。パレットの会で読み聞かせなどをする方に、別日で補修もしていただいています。

排架ボランティアは、登録制にはなっており、現在、数人の方に来ていただいています。都合の良い時間に来ていただいて、名札とエプロンを付けてもらっていただいています。このように活動されており、パレットの会や愛メイトを見ると比較的順調に活動していただいていると思っています。

○仲村委員

他の図書館と比べてかなり熱意のある方が多くおられて、幸せなことだというふうに思います。積極的に図書館が自発的な団体だから他にお任せをするだけでなく、いろいろな支えや活動しやすいような仕組みを作られたらと思います。

市の行政内で支援サービスをしていますか。他の図書館では、役所へのサービスを盛んにされているところがあると思っています。山口市の図書館はどのような状況ですか。

○中央図書館 大井館長

行政支援は、現在していません。職員が個人的に利用しているというのはあるかと思います。例えば各所属に図書館カードを作って、予約をしたら図書館から資料を届けるサービスをしている自治体もあると聞いていますが、今のところは本市ではしていません。

○仲村委員

単にその行政内で図書館が役立つというだけでなく、行政内やさらに議会で図書館の認知度や価値を高めることにつながっていると思っています。逆に行政内で何もしていないと、市民の人たちの本や読書推進にはなるが、行政のために得にならないと感じられ、予算を切られやすくなってしまうと思いますので、今後は積極的に検討されたいと思います。

○安光会長

行政資料というか、他部署の資料は収集されていますか。

○中央図書館 大井館長

市の各所属で作った刊行物やパンフレット、冊子などの資料を図書館に所蔵するため、毎年、各所属に提供を依頼しています。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

最近、紙媒体で発行しないものもかなりありまして、その収集が非常に難しいと感じています。ただ、市の各種計画で、紙媒体で発行されるものは基本的に収集しています。

行政支援に関しては、国の望ましい基準で市町村立図書館の役割として明記されており必要だと思います。現在、サービスとして確立したものはありませんがこれからの検討課題だと認識しています。

○安光会長

行政資料をインターネットで探して、プリントアウトして、製本して蔵書することもあります。いずれはほとんどがそういう形になってくるかもしれないので、どうするのが今後の課題かと思っています。また、利用者への提供となると大

変な手間がかかるかと思います。

○仲村委員

行政がインターネットで公開しているデジタルデータは、昨年度のものが見られないものもあるかと思います。国立国会図書館のアーカイブにアクセスすれば見られますが、そういったものは自治体内で自動的にPDFとかを収集するシステムとかを作っているところもあります。何か簡便に提供する方法を検討する必要があるとしても、簡便に図書館が収集することを積極的に検討してはいかがでしょうか。

○安光会長

検討いただけたらと思います。

○伊東副会長

行政資料を図書館がアーカイブして見やすい形でキープすることで議会支援に繋がったりすると思います。議員は、正確なデータを保管していないことが多いので、図書館がバックアップできるということを周知することが行政支援の第1歩になると思います。議員を支援していくという方向が一番やりやすいのかなと思います。それは、行政資料を収集するというのと、ひと続きなのかなと思っています。それで予算がついたりしなかったりすると感じています。

○安光会長

他にいかがでしょうか。

○三坂委員

図書館の基本方針で、「いつでもどこでも 本に出会えるまち 人生100年時代にマッチした」というところで、100年時代ということは、お年寄りとか、定年後とか、そういう方たちに役立つ図書館でありたいということかなと思います。防府市立図書館に行くと読書会を沢山しています。図書館でしていた読書会を地域交流センターで、自分たちで続けている読書会もあったようです。山口市の図書館で、読書会をしているところがありますか。

図書館で読書会をすると安心して参加できると思いますが、開催しているところはありますか。

○中央図書館 大井館長

現在、図書館での開催はありません。地域交流センターでは、地域ごとに読書会を開いているところはあります。そこへ同じ本をセットでお貸しする支援などはしています。

○三坂委員

山口市としては、市民の読書会を地域交流センターで立ち上げて、本をまとめて貸し出しているということですね。地域交流センター単位でしてくださいということですか。

○中央図書館 大井館長

山口市は、過去、市立図書館がなかったという経緯から、各地域で立ち上がっ

たのではないかと考えています。それが現在に続いているということではないかなと考えています。

○伊東副会長

今の読書会の話は、どちらかというと、例えば同じ本を何人かで読むような公開講座のようなものですが、今は、ビブリオバトルのような形で、いろいろなところでしているのではないかと思います。

1つの文学作品だとかの公開講座であれば、別のところの図書館が主催されているところもあるでしょうし、地域交流センターでもしていると思います。皆さんのもたれている読書会のイメージはどんなものですか。

○三坂委員

自分の持ってきた本を紹介したりするビブリオではなくて、1つの同じ本でテーマを決めて学びを深めるものです。

○伊東副会長

それに講師はいますか。

○三坂委員

はい。防府市立図書館では結構しています。山口市で開催することはありませんか。

○安光会長

読書会というよりも講座ですね。

○三坂委員

オンラインで、いろいろな講座もありますが、やっぱり地元の方と、対面で交流できる場があったらいいなと思いました。

○安光会長

そのあたりもご検討いただければと思います。

○三坂委員

コンサートやワークショップなど、いろいろな楽しいイベントもされていますが、そういったものもあったらいいなと思いました。

○安光会長

他にいかがでしょうか。

○属委員

閉架書庫の資料の活用は、良いなと思いました。閉架書庫の資料も1年に1回くらい利用者の目に触れるような機会があればいいなと思います。

○安光会長

他にはいかがでしょうか。

○福永委員

これまでの話を聞いて、図書館で知らないことが沢山あることがわかりました。子育ての頃は子どもを連れて図書館に良く通っていました。仕事が忙しくなって本を読む余裕もなく、ずっと空白の時代がありました。今の年になって、ま

た図書館がとっても楽しい所になっています。サービスや資料について知らない人がたくさんおられると思います。

阿知須図書館で資料が書庫にもあることを知ったのは、前に開架にあった本が見当たらなかったため、職員に書庫から出してもらいました。お願いしたら本を探してもらえと思ったことがありました。小郡図書館や秋穂図書館にも行けるようになりましたし、中央図書館まつりの読み聞かせで、赤ちゃんに英語の本を読んでいるのを見ました。阿知須図書館でもこどもワイワイ図書館で簡単な英語の本の読み聞かせをしようかと話しました。時間と体力があるので図書館と仲良くしていきたいと思っています。

○安光会長

各館からこの1年間を振り返っての報告いただければと思います。

○中央図書館 大井館長

昨年4月から勤務となりました。何とか1年間過ごせたのかなと思っています。新型コロナウイルス感染症が5類に変わったことで、少しずつ利用者も回復しつつあるのかなと感じています。

そうした中で、4月にこどもワイワイ図書館を開催しました。お話会や文化財保護課のワークショップをしたり、ジャグリングのパフォーマンスをしていたり、とすごく楽しいイベントができたと思っています。秋には20周年記念事業であつたり、図書館まつりであつたりをいたしまして忙しかったという思いであります。その中でも、図書館まつりで石川直樹さんに講演をしていただいたり、20周年記念事業では山根基世さんに講演をしていただいたりしまして、とてもいいご講演をいただきました。また、20年を振り返る写真展では、懐かしい写真を見ていただいたのではないかなと思っています。また、借りられた本にブックカバーをお掛けしました。

また、新しいサービスとして、マイナンバーカードとスマートフォンを使った貸出サービスも全館で11月からさせていただきました。それと少しずつではありますが館内の施設の修繕等をしまして、利用者の皆さんの読書していただくための環境を整えるとともに新たな利用者の獲得に寄与できたのではないかなと感じています。

○小郡図書館 杉山館長

今年2年目です。今年度は今の小郡図書館が建って15周年で、記念事業をいたしました。絵本作家の鈴木まもる先生を呼んで、鉄道模型を作らせていただきました。また、友の会の鉢の子さんの様々な事業を15周年記念事業として、イベント等をしていただきました。入館者数がなかなかコロナ前に戻っていないとつくづく感じたところです。また、来年度は鉢の子が15周年と聞いています。また、4月中旬から下旬までの間に、現在の小郡図書館が建ってからの入館者数が200万人に達成するのではないかと考えており、その準備を進めているところです。そういった事業を進めながら、また地域の皆さんに親しんでもらえる図

書館を今後とも目指してまいりたいと思っていますところでは。

○秋穂図書館 網田館長

今年1年目です。全ての行事が初めてで、こどもワイワイ図書館を皮切りに様々なイベントをにぎやかに実施できたと思っています。おかげさまで、コロナ前の数字以上の利用者数や貸出数が戻ってきているという状況です。今年度は施設の管理運営ということで、一部天井の修繕等行いまして、今月、無事修理が完了し、さらに快適にご利用いただけるものと思っています。読書感想画や好きなお話の絵の展示を長い期間実施し、学校や学年を変えて展示しました。来館される方がそれをご覧になられていました。お子さんたちが来られて、私の絵が飾ってあるなど言いながら、結構見ていただいたと感じています。

○阿知須図書館 国重館長

私も1年目でございます。阿知須図書館の工事の説明です。阿知須図書館は、2001年、平成13年のきらら博の市町村館をきらら浜から移設し、今年20周年を迎えており老朽化がかなり進んでいます。屋根の上の鉄骨も腐食して錆がきています。海も近く台風の際には上の幌が風に煽られています。風の抵抗を減らすため鉄骨を残して幌を撤去します。撤去すると直射日光が天窓から入るためフィルムを貼る工事をします。工期の予定は10月の蔵書点検期間と考えています。工事のトラブルや進捗状況によっては、臨時休館の検討も必要になります。

貸出冊数は今年も昨年並みで、大体約9万3千冊になると思います。貸出者数も約2万1千人で今年も昨年と同様の人数になると2月末までの累計から見込んでいます。また、20周年記念事業として、おはなしキラキラにも手伝ってもらいまして、いろいろなイベントが開催できました。

中学生のお薦め本を紹介しました。最初は職場体験をした中学生が書いたものを掲示しました。図書館を利用する他の中学生がそれを見て貼ったところ、現在2～3倍になりました。中学生がお薦め本を気にしていることを実感しました。

また、蔵書が6万5千点ありますが、旧阿知須町立図書館や旧阿知須町公民館のゴム印が押してある資料が棚にありまして、その入れ替えや除籍も進めたいと考えています。

○徳地図書館 榎本館長

4年目になります。最初は徳地図書館。それから昨年度阿東図書館に1年勤務し、今年度徳地の勤務となりました。今年度初めての試みとして、食品メーカーのシマヤの協力を得て、図書館で味噌づくり講座を開催しました。参加者は、徳地地域以外の方が半数くらいで、めったに徳地に来られない方についても、ご来館いただいたところです。

毎年実施しているイベントとしては、徳地の方を講師として、歴史講座を開催しております。おいしいおかゆの会の協力により、ストーリーテリングを毎年行っております。その他、春にはこどもワイワイ図書館や秋には図書館まつりなどを開催しております。

図書館の周囲の工事ですが、昨年度、徳地の地域交流センターが移転新築をされたために、今年度、旧地域交流センターが取り壊されます。その一部に新たな倉庫が整備されましたが、旧地域交流センターのところには広大な駐車場が完成する予定です。

また、図書館前に池がありましたが、最近の水を張っておらず、夏には草が生い茂っていましたが、駐車場の工事に合わせてコンクリートで整地をしていただきました。

○阿東図書館 徳本館長

私も1年目でございます。春先のこどもワイワイ図書館や様々な企画展示も行いまして、図書館の利用者拡大を図ろうとしましたが、阿東地域の人口流出が激しく思うような成果が得られなかったというのが実状です。

今年度は、阿東図書館が開館10周年を迎え、記念事業を図書館まつりに合わせて開催しました。阿東図書館の横にあった大きなもみの木を利用して、世界的にも有名なチェンソーのアートの林さんに高さ2m、重さ200kg程度のみみずくを制作いただいて図書館の中に飾っています。また、林さんの実演としてオランウータンを制作していただきました。その時には、興味深く、多くの人が集まって見学をされていたというのは非常に印象に残っています。

来年度は大野進二さんが新たに制作されたDVDを数本まとめて上映し、大野先生に制作した時のいろいろな苦労話をさせていただこうと考えています。

今年度1年勤務した中で、以前に地域交流センターに伺った際には、多くの声がありました。子どもたちを始め、いろいろな声が耳に入っていました。ところがこの1年間、事務室にいても本当に声を聞くことが少なくなった。特に子どもがです。まったく来なくなった。子どもにもう一回視点を向けて、親と子どもセットで来てもらえるような、企画も考えてみたらどうかと思っています。

○安光会長

報告のありましたことに対しての質問や感想などありませんか。

○伊東副会長

音訳ボランティア等の利用が定期的に5名くらいおられると聞きました。音訳ボランティアの利用では、図書館で読んでもらうことになります。今、デジタルライブラリとか電子書籍みたいなものの一端で、オーディオブックがあります。サブスクとまではいわないけれど、いろいろなものがダウンロードしてあって、一昔前だと、例えば、小説とかの文学作品だと、これは何と読むのかとか、人の名前だとかというので、非常に音訳に苦労されていました。ビジネス書だとか、専門書みたいなものの朗読。どうかするとAIが朗読をするというような、サービスもあるようです。そういうものは、例えばデジタルライブラリーだとか、電子書籍とかの一環として導入すると、音訳ボランティアの方に頼らなくても、図書館のホームページにアクセスをして、そこからダウンロードして、自宅で聞くことができます。そういう需要があると考えたら、オーディオブックの導入を進

めるのもいいのかなと思いました。

閉架書庫にお宝のようなものが眠っていてとかいう話がよくありますが、これは司書の名誉のために、私自身も司書だったのでと思いますが、図書館の司書は、閉架の中に自分が担当する分野の本はどんなのがあって、それは、開架に今出してくるべきだとか、それで今、特集コーナーとしてこういうのを出すべきだとかを全部把握したうえでしているというのが本当だろうと思います。閉架書庫にあるものは、用がなく除籍を待っているのではなくて、閉架にあるものと開架のものは常に入れ替えている。移動図書館も一緒ですが、開架のものばかりを積んでいくわけではなくて、閉架から時機にあわせて積んでいきます。司書の時間的な余裕があって、まっとうな仕事ができれば、閉架のものの中にお宝が眠っていて、開架の中にはあまり本が無いというようなことにはならないということがあります。中央図書館の開架はかなりいいセクションになっているのではないかと思います。良い棚づくりをされているように思います。担当の司書は、非常に頑張っているのではないかなと思います。司書は閉架の書庫の中にどんなのがあって、出すべきものは出しているのだと考えていただいて、そのような仕事を司書ができるようにしていただけると、閉架書庫の中には宝物が眠っているという話にはならないのではないかなと思いました。

○安光会長

ある図書館では、例えば2000年より前のものは書庫に入れるとかあるようです。そのようなルールはありますか。

○中央図書館 大井館長

特に何年という区切りとか基準ありません。利用の頻度や流行りなどになるのかなと思います。古い資料は利用が少ないので、中に入ってしまうということもあろうかと思いますが、明確な基準は設けていません。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

例えば旅行ガイドブック、るるぶやマップルは、2、3年で情報更新が必要になります。一方で長く使われる本もあると思います。そこは本当に個別の本を一冊一冊目で見てもそれぞれ判断しています。

○伊東副会長

司書を信頼してあげていいのではないかなということで発言しました。

○安光会長

他にはいかがでしょうか。

○井上委員

雑誌はある一定の年数が経ったら、閉架を通り越して、見られなくなってしまう。保管場所の問題で3年が限度なのだろうと思いつつ少し寂しいと思っています。読みたいと思っても3年で読めなくなってしまうと雑誌は手に入れることが難しいと思います。3年を伸ばすことは難しいでしょうね。

○安光会長

県立はどうですか。中村委員ご存じですか。

○中村委員

永年保存、10年保存、5年保存とそれぞれ違います。

○安光会長

永年もありますか。

○中村委員

あります。3年保存の本であっても、もしかしたら、4年以上経ったら、県内どこにもないという雑誌も出てくると思います。

○安光会長

県立図書館も書庫の問題として物理的なスペースの問題があります。県立に行けば読みたい本や雑誌があるとよいですが。

○中村委員

県立に受け入れている雑誌も違います。市立図書館で受け入れている雑誌が、全部県立にあるわけではありませんので、そのあたりは難しいですね。

○伊東副会長

それは司書に尋ねてください。調べてくれます。県立図書館の保存年限はかなり長いはずですが。しかも県内にどんな所蔵雑誌があるのかは全部わかっています。少なくとも県立図書館の人は分かっています。山口市立図書館の司書に尋ねてください。それで例えば5年前、8年前のこの雑誌を読みたいとかいったときに、その何月号にどういう特集があったかという情報もあります。例えば、2012年12月号今日の料理をということさえ特定できれば、県内から必ず探してくれます。だからこそ山口市立図書館は、安心して除籍することができます。相互貸借のシステムが、山口県の中でも整っています。それを利用させていただきたい。どんな小さな図書館でも同じです。これが読みたいというリクエストを図書館に聞いてください。

○中村委員

こうしたことなど、障がい者サービスも含めて利用者に周知していただくとよいと思います。

○安光会長

是非、図書館サービスについての広報に力を入れていただければと思います。

次の図書館協議会では、昨年3月に図書館サービス計画を策定されましたので、数値目標に対してどうだったかを評価してはどうかと思っています。

今日欠席の委員に資料を送る際に、日頃気付いたことを図書館にお寄せいただくようにしていただければと思います。

また、次の会議で本日説明のあった取組等の進捗状況などを報告いただきたいと思います。よろしくお願いします。

他に意見等はありませんか。

(意見なし)

	意見がないようですので、以上で第3回図書館協議会は終了します。事務局にお返しします。 ○中央図書館 中山管理担当主幹 本日の議事録は、ホームページに掲載することとしています。後日、議事録（案）を郵送いたしますので確認をお願いします。 次回の協議会の開催日程等は別途調整します。
	山口市立中央図書館 TEL 083-901-1040